

ヘルスソフトウェア分野新規参入セミナー

ヘルスケア×ソフトウェアで新事業・新サービスの創生を目指す！

～アイデア出しから申請手続きまで、新規参入・ビジネス化に必要な知識を基礎から学べます～



ヘルスケアアプリ、健康・福祉機器、健康食品など、健康、医療、福祉の各分野を包括するヘルスケア産業分野には、日本が直面している超高齢化社会において持続的な成長が期待できる市場として、企業の参入が相次いでいます。

また、スマートフォンやタブレット端末などの普及により、医療や健康に係わるヘルスソフトウェアが多様な環境で使用されるようになってきています。参入にはハードルが高い印象を受ける医療・ヘルスケアソフトウェアですが、医療機器・ヘルスソフトウェアとも環境が整備され比較的参入しやすい状況になってきました。

本セミナーでは、ヘルスソフトウェア分野の基礎知識を講義により理解していただき、ワークショップによる実践でヘルスソフトウェアの開発およびビジネス化にあたり必要とされる知見を習得できます。ソフトウェア開発事業者の開発担当者のみならず、営業や企画、品質管理担当者にも役立つ内容となっておりますのでぜひご参加下さい。

2015年 9月3日 [木] 13:00 ~ 17:30 | 受付 12:30 ~
9月4日 [金] 9:30 ~ 16:15 | 受付 9:00 ~

グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9F 910 Vislab Osaka

- 受講料** 一般 28,000円 下記、主催・共催・後援団体会員および学生 25,000円 (※どちらも税込価格)
- 定員** 20名 (学生枠4名) 程度 (申込締切日: 8/28 定員になり次第締切)
- 申込方法** sanko@conso-kansai.or.jp にメールでお申込み下さい

9月3日プログラム (予定) ※プログラムについては調整上内容変更の可能性がございますのでご了承願います。

- 13:00 ~ 13:10 「開会挨拶」
妙中 義之 (国立循環器病研究センター 研究基盤センター長)
- 13:10 ~ 13:45 「ヘルスソフトウェア分野への参入事例Ⅰ：既存製品のGHS登録」
中西 宏之 (京セラ丸善システムインテグレーション株式会社 商品開発事業部 PKG開発部 部長)
- 13:45 ~ 14:15 「事例分析Ⅰ」
八木 雅和 (大阪大学国際医工情報センター 特任准教授)
- 14:15 ~ 14:50 「ヘルスソフトウェア分野への参入事例Ⅱ：いびきチェックアプリ “ZooZii”」
田中 慎一 (株式会社アニモ 取締役 第三事業部 事業部長)
- 14:50 ~ 15:20 「事例分析Ⅱ」
山田 憲嗣 (大阪大学大学院医学系研究科ロボティクス&デザイン看工融合研究講座教授)
- 15:20 ~ 15:30 (休憩)
- 15:30 ~ 16:15 「医療機器ソフトウェアの法規制対応」
鈴木 孝司 (財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 主任研究員)
- 16:15 ~ 17:00 「ヘルスソフトウェアの“該当”/“非該当”の考え方」
鹿妻 洋之 (一般社団法人ヘルスソフトウェア推進協議会 管理委員会副委員長)
- 17:00 ~ 17:30 「2日目ワークショップに向けてのアイスブレイク」

9月4日プログラム (予定)

- 9:30 ~ 10:00 「1日目サマライズとワークショップ課題の解説」
- 10:00 ~ 12:00 「ワークショップ」
(大阪大学教員がファシリテーターとして参加)
- 12:00 ~ 13:00 (昼休憩 ※お弁当をお配りいたします)
- 13:00 ~ 14:00 「ヘルスソフトウェアのリスク分析演習～適合宣言書の書き方～」
八木 雅和 (大阪大学国際医工情報センター 特任准教授)
- 14:00 ~ 16:00 「発表&全体ディスカッション」
- 16:00 ~ 16:15 「修了式」

主催：一般社団法人 臨床医工情報学 コンソーシアム関西
共催：一般社団法人 ナレッジキャピタル、一般社団法人 ヘルスソフトウェア推進協議会
後援：日本生体医工学会、ITヘルスケア学会、IT連携フォーラムOACIS、組込みシステム産業振興機構、公益財団法人都市活力研究所
公益財団法人大阪市都市型産業振興センター(大阪産業創造館)、大阪商工会議所、近畿経済産業局、大阪大学国際医工情報センター

※このセミナーは「ヘルスソフトウェア推進協議会」の教育プログラムに準拠しています

